

作業療法学研究の実施風景（2025. 3） その2

2025年3月19日

今回は、子どもの学習場面や高齢者で問題となることが多い、“仙骨座り”姿勢（右側の写真参照）が上肢の操作性（タイピング）や快適さにどのような影響を与えるのかを検証しました。仙骨座りになると重心が後ろにずれ、この姿勢を続けると背中が丸くなりやすく、腰や首に負担が掛かることがあります。姿勢に気を付けることはリハビリテーション場面でもとても重要になってきます。



基本座位姿勢と比較して



タイピング数や快適さに
どの程度違いがあるでしょうか？